

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%  
保護者様： 15名回答、回答率 94%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・なるべく支援室にものを置かず広いスペースを維持し、目が行き届くようにしている。
- ・教室内で体を動かして遊べるスペースにはカラーテープで区切りを付け、座って遊んでいるお子様と接触しないようにしている。
- ・お子様がクールダウンできるスペースや場を仕切ることができるパーテーションを用いて、適宜活用している。
- ・目に見えるところに教室の流れや注意事項を掲示している。

### ○業務改善

- ・送迎時やサービス提供記録、面談等を通して保護者様のご意向を把握し、業務改善に努めている。
- ・送迎前の教室内ミーティングを通し、職員間での意見交換を頻繁に行っている。
- ・eラーニングの受講や、研修に定期的に参加している。

### ○適切な支援の提供

- ・保護者様やお子様からのご意向をうかがい、職員間で話し合った上で一人ひとりに合わせた課題を設定し支援を行っている。
- ・支援開始前にミーティングを行い、支援内容や情報共有をしている。また、ミーティング以外にも情報共有は適宜行っている。
- ・療育テーマに沿って立案し、継続して行う内容も新しく取り入れた内容も、どちらもバランスをとりつつ実施している。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時等を利用し、保護者様や学校の先生と情報共有する機会を設けている。
- ・地域の関係機関や放課後児童クラブとの交流が少ないため、交流の機会が持てるように考えていきたい。

### ○保護者への説明責任等

- ・送迎時に保護者様からのご相談をうかがったり、対面での面談を適宜行っている。
- ・父母会といった保護者同士の交流の機会が持てるように、考えていきたい。

### ○非常時等の対応

- ・事故や災害が起きた際のマニュアルを設定し、地震や火災などを想定した訓練を毎月行っている。
- ・ヒヤリハットを教室内で共有し、紙面に残すことで再発の防止に努めている。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

- ・「生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。」に関しては9割以上の方に「はい」との回答をいただいた。
- ・「職員の配置数は適切であると思いますか。」という質問に対して「わからない」との回答もあったため、周知方法を工夫する必要がある。

## ○適切な支援の提供

- ・「こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。」に関しては、個別支援計画の内容についてのフィードバックが足りないのご意見をいただいた。
- ・「こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。」に関してはご回答いただいた全ての方に「はい」とのご回答をいただき、保護者様の満足度が高いことをうかがうことができた。

## ○保護者への説明等

- ・「放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。」「事業者の職員から共感的に支援されていると思いますか。」に関しては、ご回答いただいた全ての方に「はい」とのご回答をいただき、保護者様の満足度が高いことをうかがうことができた。
- ・「定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。」に関してはわからない、どちらともいえないの意見を複数いただき、周知方法について検討する必要がある。

## ○非常時等の対応

- ・「事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。」に関しては9割以上の方に「はい」との回答をいただいた。

## ○満足度

- 「こどもは安心感をもって通所していますか。」に関しては、全ての方に「はい」とのご回答をいただき、保護者様の満足度が高いことをうかがうことができた。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

- ・面談等を通して保護者様やお子様のニーズをうかがい、ニーズを取り入れた集団療育の検討・実施を行う。
- ・現在ご利用いただいている方や、今後のご利用を検討されている方に、お子様達が教室で過ごしている様子を知る機会を持っていただくため、月に1回以上のブログの更新を行う。
- ・送迎時やサービス提供記録、面談を通してお子様の日々の様子を詳細に保護者様へお伝えしていくことを継続し、更に保護者様との関係を構築できる場を増やす。

## ○改善できた点・まだ残る課題

- ・半期に一度保護者の方と面談を行い、面談を通して改めて個別療育や集団療育の内容について検討することができた。
- ・ブログの更新頻度を上げるには至らなかったが、療育で使用した作品等をお持ち帰りいただいたうえで、サービス提供記録や送迎時のフィードバックなどで集団療育の内容や様子をお伝えすることができた。
- ・保護者様への申し送りの前に、職員間で児童の様子について共有をする時間を設けた。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・毎日の業務前ミーティングで情報共有をし、お子様の特性を確認してから支援を行っているため、安心感が得られる教室になっている。
- ・課題を設定する際に職員同士で意見交換を行ったり、保護者様との面談をとおして課題設定を行うことで、お子様のことを十分に理解した支援計画を作成することができている。

### ○改善点

- ・保護者会や保護者の方々も参加することができる研修会の実施など、情報共有の機会を設けることができるように検討する。
- ・地域の機関との連携や交流の場が少ないため、集団療育、課外活動を精力的に行い、交流の機会を増やす。
- ・非常時の対応について「わからない」との意見を複数いただいたため、周知の方法を工夫する。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・保護者同士やきょうだい同士の交流の機会を設け、家族向けの支援の充実を図る。
- ・非常時の対応についてお子様の避難訓練の様子を知っていただき、安全計画、各種マニュアル等の内容の周知を徹底する。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・保護者同士の関係を構築できる場としてより多くの方が参加出来る日程で保護者会などの実施を検討する。
- ・お子様の避難訓練の様子をニュースレターを通して知っていただくとともに、安全計画や緊急時のマニュアルを4月に配布して保護者の方々への周知に努める。